

「航空便の減便に伴う検査への影響について」 報告遅延と経時変化の影響

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび弊社は各航空会社から新型コロナウイルスの影響により航空便の大幅減便を実施する旨の通知を受けました。そのため検査委託先へ通常利用している当日夜間の航空便での検体輸送が困難となり、貨物が搭載できる翌日午前の便に変更せざるを得ない状況に至りました。

これに伴い、検体到着が遅延となり、併せて報告日数に影響が出るのが想定されます。更に全血を材料とする検査は優先して検査致しますが、経時変化の影響により、検査結果は参考値となる可能性がございます。大変申し訳ございませんがご出検いただく場合にはご理解賜りますようお願いいたします。

先生方にはご迷惑をお掛けすると存じますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

対象項目(経時変化に影響を受ける項目)

- 全血検体を用いて行う検査(保存担保ができない項目)

* 詳細につきましては弊社担当者までお問い合わせください。

対象期日

- 令和2年4月22日(水)～4月28日(火)まで(暫定期間)

* 現行の運用には今後も限界が生じており、運行スケジュールの変更によっては更なる航空便の貨物輸送の縮小や減便の可能性もございます。
減便が解消されましたら改めてご案内いたします。